

「ふくすいき

令和5年12月号

～福水企～ 通信



企業団キャラクター
ピュータくん

この「ふくすいき～福水企～」通信は、福岡地区水道企業団、各構成団体などの情報交換のために毎月発行しています。

発行：福岡地区水道企業団 総務課
福岡市南区清水四丁目 3-1
TEL 092-552-1731(代)

■ 企業団・構成団体の動き

● 筑後川の水を利用されている皆様へ「水の大切な使用」についてお願い

福岡都市圏の水道水の約3分の1は筑後川からの水によって賄われています。

しかし、筑後川の流域では、8月以降、少雨傾向が続いており、特に9月から10月の降雨量は平年の**3割程度**にとどまり、断続的にダムからの補給が必要な状況となっています。

福岡都市圏の皆様におかれましては、限りある水資源の有効利用のため、水をより大切に使用して頂きますよう、ご協力をお願いいたします。



● 福岡都市圏総合水対策研究会現地視察【参加しました】〔11/1(水)・2(木) 宮城県仙台市〕

福岡都市圏の水道部局の課長級職員で構成する福岡都市圏総合水対策研究会の先例地視察研修が宮城県企業局及び仙台市水道局で行われ、構成団体等から13名が参加しました。

宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）は、宮城県が水道事業者としての位置づけを維持しつつ、民間事業者に水道施設の運営権を設定した全国初のコンセッション方式による官民連携の推進事例で、宮城県の職員から、検討の経緯や運営権者との役割分担、料金改定の仕組み、運営権者の監視体制などについて説明を受けました。近年の物価上昇や著しい動力費の上昇の影響を受けつつも、安定的な運営に励んでおられる様子がうかがえました。

仙台市・塩竈市共同浄水場整備計画は、老朽化の進行や耐震性に課題のある仙台市の国見浄水場・中原浄水場と塩竈市の梅の宮浄水場を統合し共同浄水場として整備するもので、両市の職員から、事業の経緯や整備方針、建設費・維持管理費に係る費用負担の考え方などについて説明を受けました。

仙台市の青下の杜プロジェクトは、仙台市と民間企業が連携して、協力企業毎に割り振られたエリアで水源地の保全活動（水源涵養林間伐体験、周辺の清掃活動、植樹など）を行うもので、仙台市職員の説明を受けたあと、青下水源地を散策し、美しく豊かな杜が育まれていることを実感しました。

いずれも全国的に先進的な事例ばかりで大変有意義な視察となりました。

＜計画調整課 山崎＞



みやぎ型管理運営方式の説明



共同浄水場整備計画の説明



青下水源地の散策

●福岡地区水道企業団議会議員・監査委員合同行政視察【開催しました】〔11/16(木)・17(金) 愛知県新城市ほか〕

企業団議会議員（平畑雅博議長ほか 13 名）及び監査委員（大森一馬・松山力弥監査委員）が合同で、他都市の水道事業の施設・事業運営の先進的取り組み等について実地調査を実施しました。

初日は、愛知県新城市の（独）水資源機構豊川用水総合事業部新城支所を訪れ豊川用水の概要及び 2 期事業等（牟呂松原頭首工及び浅間・風越東部併設水路工事現場の視察を含む）について、2 日目は、岐阜県各務原市の自然共生研究センターにて河川自然環境保全・復元のための研究内容等について調査を行いました。

今後、当企業団の事業運営に活かしてまいります。

＜議会事務局 山田＞



牟呂松原頭首工にて



浅間・風越東部併設水路工事現場



自然共生研究センター

●福岡工業大学附属城東高校での感謝状贈呈式【開催しました】〔11/28(火) 福岡工業大学附属城東高校〕

当企業団の設立 50 周年に際して、高校生が「筑後川へのありがとうを集めよう！」プロジェクトを立ち上げ、博多駅前広場や天神地下街イベント広場、学校内で 2,500 件を超える「ありがとう」を集めてくれました。

このプロジェクトに参加した福岡工業大学附属城東高校の学生に対し、11 月 28 日（火）に同校を訪問し、感謝状を贈呈しました。校長先生から「生徒たちが学校を越えて、いろいろな方と関わりを持ってた事は、大変貴重な経験になった」との話をいただきました。

＜総務課 坂田＞



受賞者の皆さんと記念撮影



佐伯校長先生をはじめ学生の皆さんに感謝状と記念品を贈呈



■水源地域との交流事業

実施レポート

●市民参加の森づくり大会（植樹）【参加しました】〔11/11（土）大分県日田市〕

日田市では、森林の有する地球環境保全や土砂災害防止、水源かん養などの公益的機能を守り育てていく機運を高めるとともに、上下流域住民の交流・親睦を深めることを目的として、『市民参加の森づくり大会』を開催しています。

会場は日田市萩尾公園の市有林で、福岡都市圏広域行政事業組合が募集した住民約60人をはじめ、日田市民やみどりの少年団、久留米市民や日田市、久留米市、福岡市水道局、当企業団の職員など約250人が参加しました。

開会式では、水源地域を守る日田市に日頃の感謝の気持ちを込めて、当企業団、福岡市水道局、久留米市上下水道部からそれぞれ苗木を贈呈いたしました。

特に今年は当企業団から50周年記念事業「ありがとうの森プロジェクト」の苗木も一緒に寄贈しました。

その後、参加者の皆さんは、萩尾公園にヤマモミジ、ヤマザクラの合計630本の苗木を植樹しました。

植樹終了後は、「だご汁とおにぎり」の昼食をいただきました。希望者には「鹿肉の串焼き」も振舞われ、美味しい鹿肉に舌鼓を打たれた参加者も多く、楽しい昼食会となりました。

昼食後、福岡都市圏の住民の皆さんは江戸時代の古い街並みが残っている豆田町に立ち寄り、同日に開催された『日田天領まつり』を散策されました。

今回の植樹により、災害に強い森づくり、森林に対する理解や関心が高められ、また、上下流域住民の交流・親睦も深められたことと思います。

＜総務課 川中＞



苗木贈呈式

（副企業長から日田市農林振興部長へ）



植樹の様子



植樹の様子



記念撮影



『日田天領まつり』の様子

●水をつなぐ流域交流 in ^{しもとごうち}下戸河内 【参加しました】〔11/12（日）朝倉市江川〕

江川ダムの下流にある下戸河内地区では、平成 13 年から、小石原川ダム・江川残存地区下戸河内ダム対策協議会の主催により、水源地や水源林の保全、上下流住民の交流を目的として、福岡都市圏と水源地域の住民の皆さん等が参加して、毎年、植樹や昼食会、もちつき、ミニ運動会、いもほりなどの交流会を開催してきました。

今年の事業については、新型コロナウイルス感染は落ち着きつつあるものの、昨年と同様に昼食・交流会は中止され、植樹のみが実施されました。

当日は、福岡市民・独立行政法人水資源機構・朝倉市・福岡市水道局・当企業団などから総勢 30 人超の皆さんが参加され、30Kg を超える大型の河津桜の苗 10 本を植樹しました。慣れない杭打ちの道具に苦労しながらも、無事植樹を終了しました。

この木々が筑後川流域の環境保全に貢献し、流域の皆さんはもとより、福岡都市圏にも清らかな水をもたらしてくれることを願っています。

＜総務課 川中＞



朝倉市長のあいさつ



植樹作業の様子



記念撮影

●200 海里の森づくり・植樹 【参加しました】〔11/18（土）大分県日田市中津江村〕

日田市中津江村において、200 海里の森づくり実行委員会の主催により、植樹活動が行われました。

この催しは、筑後川上流域の森づくりを通して、有明海の水質環境づくりに貢献し、200 海里につながる豊かな水資源を未来の子どもたちに引き継ぐことを目的として実施されています。

当日は、福岡都市圏から、那珂川市 23 人、須恵町 25 人、大野城市、春日那珂川水道企業団、新宮町、福岡都市圏広域行政事業組合、福岡市水資源対策担当、当企業団の職員が、地元からは中津江村農林業支援センターや（一財）中津江村地球財団の関係者など、あわせて約 70 人が参加しました。

植樹は、2002 年日韓共同開催のサッカーワールドカップで、カメルーンチームが合宿をした鯛生スポーツセンター内で行われ、外気温 3℃という寒さの中で、モミジやサクラ 200 本を植樹し、それぞれの思いを記入した木札を吊るしました。



記念撮影

植樹終了後は、昼食にバーベキューをいただいたあと、鯛生金山の見学や砂金採りの体験などを楽しみました。

参加者の皆さんは、植樹活動を通して水や森づくりの大切さを実感されたことと思います。

＜総務課 川中＞



事前説明を熱心に聞く参加者



植樹の様子



思いを木札に託して



バーベキューで楽しく食事



砂金採りの様子



鯛生金山の入り口

●那珂川みらい会議（Well-being Week 実証実験）【開催されました】〔11/19（日） 那珂川塩原河川敷〕

那珂川河川敷で今年から始まった『那珂川みらい会議』主催の Well-being Week に、当企業団も共催しました。事業の目的は、公民学連携による水辺の活性化の実証実験を行うもので、福岡市南区、九州大学芸術工学研究院も共催しています。

イベントは11/18（土）から予定されていましたが、あいにくの荒天だったため11/19（日）のみの開催となりました。19（日）は朝から青空に恵まれて、大勢の子供たちが参加しました。

「那珂川に住んでいる生き物は？ どうやったら共生できるかな？」といった疑問に答える実験をはじめ、SUP体験やデイキャンプサイト、Cycling マルシェなど親子で楽しめるコーナーがたくさん用意されました。また、焼き鳥やたこ焼きなどの、飲食ブースも出展されました。

当企業団からは『ふくおかの水』を480本提供しました。



那珂川塩原河川敷のイベント会場

＜総務課 川中＞



実験の説明を聞く子供たち



デイキャンプサイトの様子



『ふくおかの水』も飲まれています

●小石原川・佐田川「ノーポイ」運動【参加しました】〔11/28（火）朝倉市佐田ほか〕

江川ダム及び寺内ダム周辺において、独立行政法人水資源機構と甘木漁業協同組合の共催で、小石原川及び佐田川流域の河川愛護・水産資源保護を目的とした清掃活動が実施されています。

本年は、小石原川及び佐田川流域をあわせて 130 人を超える参加がありました。

佐田川流域の寺内ダム周辺においては、当企業団 5 人のほか、大野城市 2 人、太宰府市 1 人、春日那珂川水道企業団 2 人、古賀市 2 人、宇美町 2 人、新宮町 2 人、水資源機構の職員など 50 人以上が参加しました。

参加者は 7 班に分かれ、ダム湖周辺の空き缶、ペットボトル、びん、タイヤなどのゴミを回収し、リサイクルや適正処分のための分別作業を行いました。

大切な水資源や美しい環境を守るとともに、人々のマナー意識が少しでも向上することを願って、今後も河川美化運動に積極的に参加してまいります。



佐田川班の記念撮影

<総務課 川中>



ダム湖の沿道でゴミを回収する参加者



集めたゴミを分別

■水源地域の主なイベント 【お出かけください】

12月、1月の予定

●大善寺玉垂宮の鬼夜〔1/7（日）久留米市大善寺町〕

（公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会から情報提供いただきました）

「大善寺玉垂宮の鬼夜」は、大晦日の夜から正月7日まで行われる「鬼会」の最終日に行われる行事で、1600年余りの伝統があり、日本三大火祭りの一つに数えられるとともに、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

仁徳天皇56年（368年）1月7日、勅命により藤大臣が、当地を荒し人民を苦しめていた賊徒・肥前国水上の桜桃沈輪を、闇夜に松明を照らして探し出し、首を討ち取って焼却したのが始まりだと言われています。

1月7日は、「鬼面尊神渡御・還御」や「汐井汲み神事」、「シオイカキ」といった神事後、午後9時頃に二番鐘が打たれた後に、暗闇の中、奥神殿から鬼火（大晦日の夜神官が燧石で取った御神火）が出て、一斉に大松明に点火されます。

その後、燃え盛る大松明の前で「鉾面神事」が行われます。この「鉾面神事」は10分足らずと時間は短いのですが、古式にのっとり、赤・青の天狗による相克の「魔払い神事」で、鬼夜の起源を表すとも言われています。

そして、いよいよ「大松明廻し」が始まります。長さ約13m、重さ約1.2tの「日本一」といわれる大松明6本が、紅蓮の炎を上げて燃え上がり、それを数百人の締め込み姿の氏子若衆が、「カリマタ（先が二又になった櫂の棒）」で支えて、本殿を廻る様子は圧巻です。その間、鬼は姿を隠したまま、シャグマ※の子どもたちに囲まれて鬼堂の周囲を7回半回ります。

この鬼の堂回りが終わると、一番松明が「惣門くぐり」を行います。これは、一番松明だけの特権で、燃え盛る大松明が狭い惣門をくぐり抜ける様子も見事です。

その後、鬼はシャグマの子どもや棒頭に護られて、密かに汐井場で禊をし、神殿に帰ります。鬼が神殿に戻ると、明りが灯されるとともに、厄鐘が、7・5・3と打たれ、行事が終わります。

なお、大松明の火の粉を浴びると無病息災といわれ、毎年、家内安全、災難消除、開運招福を祈願する多くの方々と賑わいます。



大松明廻しの様子

※ シャグマ：人の世ともう一つの世界（異界）との間を守る存在（「筑後の年中行事 12ヶ月 篠原正一著」）とされ、特異な被り物を付けた鬼の警護役

日 時 令和6年1月7日（日）13：00～23：30頃

※ 大松明点火は21：00過ぎ頃～

開催場所 大善寺玉垂宮（久留米市大善寺町宮本1463-1）

問い合わせ先 大善寺玉垂宮社務所 TEL 0942-27-1887

■ 水道管の凍結防止策

寒さが厳しくなると、水道管が凍ったり、破裂したりすることがありますので、水道管の冬支度をお願いします。

○ 低温注意報が発令されたら

低温のため水道管の凍結・破裂など著しい被害が予想される場合、低温注意報が発令されます。

→ [福岡管区気象台HPはこちら](#)

冬の冷え込みが厳しいときは、気象情報に注意していただき、次の凍結防止策を行ってください。

○ 凍結しやすい水道管

- ・屋外に露出している管
- ・北側の日陰にある管
- ・風当たりの強い場所にある管



○ 家庭でできる凍結防止策

水道管の凍結防止には保温が一番の対策です！

- ・厚手の布や保温チューブ（市販品）で蛇口の上まで包み込んで、ビニールなどで防水してください。
- ・メーターボックスの中にも布や新聞紙を詰めて保温します。
- ・太陽熱温水器やボイラー、湯沸かし器などは元せんを閉め、水抜きしてください。

○ 水道管が凍ってしまったときは？

- ・凍った部分にタオルなどを被せて、ゆっくりとぬるま湯をかけてください。

※急に熱いお湯をかけると、水道管が破裂することがあるので注意してください。

○ 水道管が破裂した場合

- ・メーターボックス内のバルブ（元せん）を閉め、水を止めてください。

また、破裂した箇所を布やテープでふさいでから、お住いの市町等の指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。

※水道メーターから宅内の修理費は自己負担となります。

→ [各市町等の連絡先はこちら](#)

水 源 情 報

企業団ホームページの「水源情報」は、毎日（土日祝を除く。）最新情報に更新しています。

福水企

検索

アドレスをクリックすると、
【水源情報】が載っています
ので、見てね！！



・企業団ホームページ「水源情報」アドレス

<https://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/>

編 集 後 記

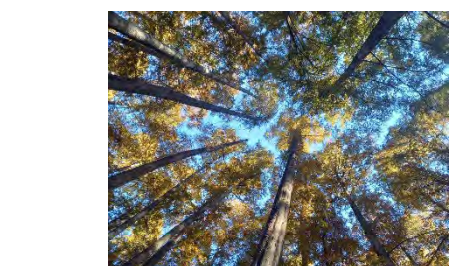
背振山に向かう途中に「メタセコイアの森が不思議な空間を作っている場所」があると聞き、11月の晴れた日に行ってみました。

メタセコイアは『生きた化石』と呼ばれることもある針葉樹で、太古の地層から化石が発見される場所に、古くから姿を変えずに行き続けている樹木です。

早良区の椎原登山口から小川のせせらぎを聞きながら20分ほど登ると、突然、金色に光る並木の中に辿り着きました。周りの緑の木とは少し違った高い木々の中に身を置くと、雄大な自然の包まれたような感覚になりました。

その後、さらに上がっていくと開けた道に出たので、遠くからメタセコイアの森を眺めることが出来ました。紅葉が美しいもみじや、ススキなど秋の風情を感じる景色を見ると、カメラが得意では無い私も、思わずシャッターを切っていました。今年は秋が短く寂しい年ですが、晴れた日には近くの自然に触れて貴重な季節を感じてみてはいかがでしょうか。

<川>



★ 構成団体の皆さまからの情報をお待ちしています！！

「ふくすいき～福水企～」通信では、今後も構成団体の皆さまの声や意見を掲載していきたいと思っています。

皆さまの周りでも、お知らせしたいことや紹介したい取り組み、イベント情報、また感想、ご意見などありましたら、ぜひ、ご連絡ください！！

よろしくお願いします。

～ 情報を提供していただく場合 ～

掲載希望前月の末日までに、原稿を下記へメール送信してください

福岡地区水道企業団総務課交流広報係 kouhou@f-suiki.or.jp

たくさんの情報提供を
お待ちしております！！



福岡地区水道企業団では、企業団ホームページや SNS（Twitter、Facebook ページ）を通じて、企業団が行う事業や取り組み、水源地域や流域で行われるイベント等をわかりやすくタイムリーに情報発信しています。

ホームページの記事や SNS で発信した情報について、面白い、役に立ったなどと思われた方は、ぜひ、SNS の機能（リツイートやシェアなど）を使って、多くの方に情報を届けていただければ幸いです。

福岡地区水道企業団 H P

<https://www.f-suiki.or.jp/>

福水企

検索



福岡地区水道企業団 X (旧 Twitter)

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 Facebook ページ

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 YouTube ページ



福岡地区水道企業団



福岡地区設立 50 周年記念事業関係 HP,SNS

50 周年記念特設ページ



アイアンキングの部屋



企業団 50 年のあゆみ (Web 版)

